

類似種（イタチ・シマリス）の識別資料

イタチとチョウセンイタチの識別

狩猟獣のイタチ類

●イタチ（狩猟獣は雄のみ）

- ・ 日本固有種。本州、四国、九州に分布し、北海道や伊豆諸島などでは導入された個体が定着している。
- ・ 雌は雄よりも小型。
- ・ 雄 頭銅長 27～37cm、尾長 12～16cm
体重 290～650g
- ・ 雌 頭銅長 16～25cm、尾長 7～9 cm
体重 115～175g
- ・ 体色は茶褐色から赤褐色。



イタチ



イタチの分布（第6回基礎調査）

●チョウセンイタチ（狩猟獣は雄のみ）

- ・ 日本での自然分布は対馬だけであるが、九州、四国、中部地方まで分布が拡大している
- ・ イタチと比べて雄は特に大型
- ・ 雄 頭銅長 28～39cm、尾長 16～21cm
体重 650～820g
- ・ 雌 頭銅長 25～31cm、尾長 13～16cm
体重 360～430g
- ・ 体色はやや褐色がかかった山吹色



チョウセンイタチ

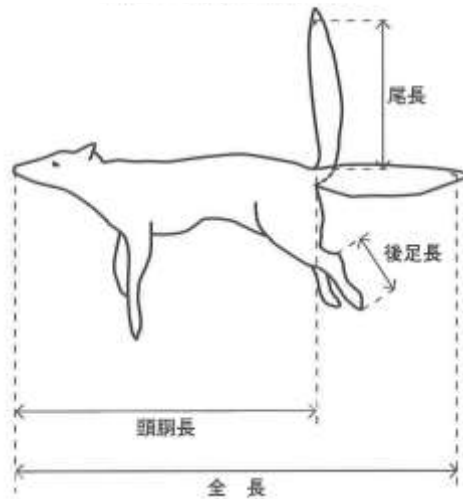
チョウセンイタチの分布
（第6回基礎調査）

イタチとチョウセンイタチの識別

分布が重なる地域では識別に注意が必要であり、識別が困難な場合には、計測による尾率が目安となります。

成獣の尾率（尾長／頭胴長）が40%程度 → イタチ

成獣の尾率（尾長／頭胴長）が50%を超える → チョウセンイタチ



- ・ 尾率とは「頭と胴体の長さ」に対する「尾の長さ」の割合をいいます。
- ・ 頭と胴体の長さを頭胴長といい、動物を仰向けに寝かせ、鼻の先端から尾の先端（毛は除く）までを測定した長さから、尾長を差し引きます。
- ・ 尾長は尾を垂直に曲げて屈折部から先端までを測定します。

リス類の識別

狩猟獣のリス類

●シマリス

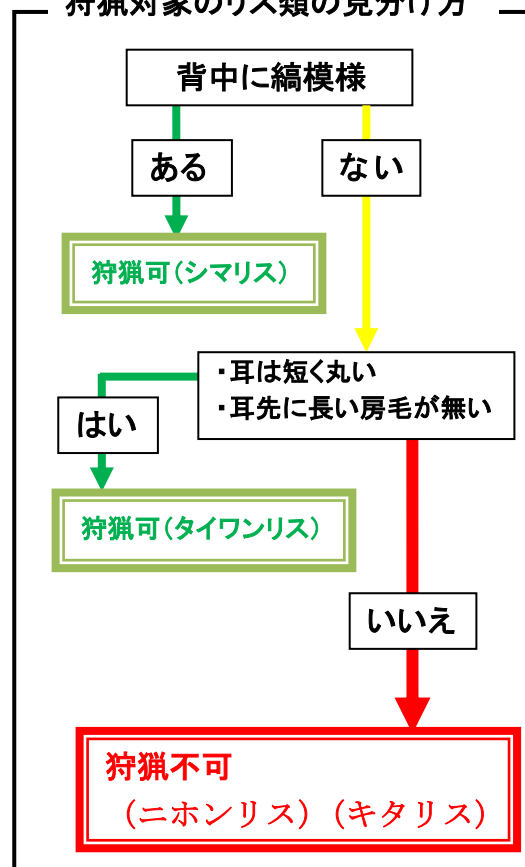
- ・ 日本では北海道のみに自然分布するが、ペットとして利用された中国産の個体が各地で野生化している（※北海道では、平成 29 年 9 月 14 日まで捕獲禁止）
- ・ 頭胴長 12～15cm、尾長 11～12cm、体重 71～116g。
- ・ 腹面は白色。体色は茶色で、背中に 5 本の黒縞がある。
- ・ 耳は長く、三角。
- ・ 体の大きさは、ニホンリスの半分程度。

シマリス



タイワンリス (クリハラリス)

狩猟対象のリス類の見分け方



●タイワンリス (クリハラリス)

- ・ 特定外来生物。日本では台湾から持ち込まれたものが野生化している。
- ・ 頭胴長 20～22cm、尾長 17～20cm、体重 360g 前後。
- ・ 腹面は淡い灰褐色 (本種以外はすべて白色)。
- ・ 耳は短く丸い。
- ・ 体重はニホンリスの 1.5 倍ほどある。

狩猟獣ではないリス類

●キタリス

- ・ 日本では北海道に亜種エゾリスが分布する。
- ・ 頭胴長 22～27cm、尾長 16～20cm、体重 300～400g。

●ニホンリス

- ・ 本州、四国、九州に分布する。中国地方や九州では少ない。
- ・ 頭胴長 16～22cm、尾長 13～17cm、体重 250～310g。
- ・ 1994年に狩猟獣から除外された。

狩猟できません



キタリス

狩猟できません

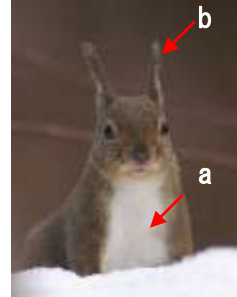


ニホンリス

～台湾リスとの違い～

a.腹部は白色

b.冬毛では耳先に房毛が生える



ニホンリス



台湾リス (クリハラリス)
(腹部は灰褐色)